



三重県公立小中学校教頭会  
〒514-0003 津市桜橋 2 丁目 142  
教育文化会館別館 3 階  
TEL 059 (228) 2340  
FAX 059 (228) 2271  
E-mail:mieheadt@hyper.ocn.ne.jp



5月10日（金）に三重県総合文化センターで開催されました「三重県公立小中学校教頭会総会」におきまして、私を含め8名が新役員として選任していただきました。諸先輩方が築かれた歴史を深く感じながら、このような重責を務めさせていただくこととなり、身の引き締まる思いがいたします。5月1日の改元で新元号が平成から令和と変わり、事務局1名と10名の執行部が新体制で本教頭会の運営を行っていきたいと思いますので、会員皆様の温かいご理解とご支援をいただきますようお願いいたします。

さて、平成29年3月に文部科学省から「新学習指導要領」が示され、小学校では令和2年度から、中学校では令和3年度から本格実施となります。各小中学校では、これからの社会がどんなに変化して予測困難な状況になっても、自ら課題を見付け、学び、考え、判断して行動する子どもたちを育てるため、「主体的で協働的な学習」「道徳の教科化」「小学校における英語の教科化」「プログラミング教育」など、新たな取り組みが進められていくと思います。ここに、私たちは、自信と誇りと責任をもって、子どもたちと向き合うとともに、新しい時代の教育を担う教職員のリーダーとして、経営ビジョンを持ち、アンテナを高くして、組織力を生か

した環境づくりを進めていくことが重要な職務です。また、子どもの利益を最優先させ、保護者からの負託であることを自覚し、保護者・地域・関係機関の状況をよく理解したうえで、学校運営ができるように取り組んでいきましょう。

一方、学校現場を取り巻く環境は複雑化・多様化するとともに、教頭の職務は多種多様となり、労働環境も大変厳しい状態が続いています。国会では、昨年度「働き方改革を推進するための関係法律の整備に関する法律」が成立し、各方面での施策が進められています。私たち教頭がその力を十分発揮できるような労働環境を整えるため、要請活動にも取り組まなければなりません。

本教頭会は、「政策提言能力を備えた職能研修団体」として、児童のよりよい成長を願い、輝く未来を提供できる教育団体です。職務に関する調査研究をもとに、学校現場における活動の充実に向けた提言を行い、会員相互の連携を深め、組織の充実・強化を進め、会員一人ひとりの地位の向上を図ることを目的としています。それぞれの力は微力ではありますが、多くの方々と楽しく協働できれば幸いと考えています。会員の皆様方の力強いご支援とご協力を重ねてお願いし、会長就任の挨拶とさせていただきます。

## 令和元年度 県教頭会本部役員名

| 役 職   | 名 前     | 学 校 名  | 名 前     | 学 校 名 |
|-------|---------|--------|---------|-------|
| 会 長   | 北 田 昌 克 | 香良洲小学校 |         |       |
| 副 会 長 | 奥 理     | 柘植中学校  |         |       |
| 副 会 長 | 小 林 信 行 | 久米小学校  | 中 西 知 子 | 大江中学校 |
| 書 記   | 小 林 ゆかり | 桜台小学校  | 北 森 敬 子 | 西郊中学校 |
| 会 計   | 牧 久 雄   | 大紀小学校  | 田垣内 康 夫 | 新鹿中学校 |

|      |       |
|------|-------|
| 事務局長 | 辻 幸 子 |
|------|-------|

E-mail : mieheadt@hyper.ocn.ne.jp

ホームページ : <http://mie-kyotokai.jp>

## 令和元年度 郡市会長・理事名

| 郡 市 名    | 会 長     |           | 理 事     |           |
|----------|---------|-----------|---------|-----------|
|          | 名 前     | 学 校 名     | 名 前     | 学 校 名     |
| 桑名市・桑名郡  | 藪 中 政 雄 | 成 徳 中 学 校 | 内 藤 昌 孝 | 長島北部小学校   |
| いなべ市・員弁郡 | 伊 藤 弘 樹 | 藤 原 小 学 校 | 伊 藤 弘 樹 | 藤 原 小 学 校 |
| 四日市市(小)  | 松 野 高 彦 | 常 磐 小 学 校 | 東 せ い   | 富洲原小学校    |
| 四日市市(中)  | 道 浦 博 文 | 富 田 中 学 校 | 松 井 茂 雄 | 大 池 中 学 校 |
| 三 重 郡    | 染 井 桂 子 | 菰 野 小 学 校 | 豆 野 朋 雄 | 朝 日 小 学 校 |
| 鈴 鹿 市    | 中 野 誉   | 河 曲 小 学 校 | 岸 原 正 治 | 神 戸 小 学 校 |
| 亀 山 市    | 松 本 英 夫 | 白 川 小 学 校 | 西 川 浩   | 中 部 中 学 校 |
| 津 市 北    | 片 田 俊 二 | みさとの丘学園前期 | 奥 田 幸 伸 | 朝 陽 中 学 校 |
| 津 市 中    | 岡 田 興 昌 | 豊 里 中 学 校 | 川 口 達 也 | 敬 和 小 学 校 |
| 津 市 南    | 村 田 広 行 | 家 城 小 学 校 | 村 井 直 人 | 白 山 中 学 校 |
| 松 阪 市    | 吉 永 泰 志 | 機 殿 小 学 校 | 濱 口 洋 子 | 朝 見 小 学 校 |
| 多 気 郡    | 西 出 孝   | 宮 川 中 学 校 | 澤 田 泰 子 | 斎 宮 小 学 校 |
| 伊 勢 市    | 大 井 一 晃 | 桜 浜 中 学 校 | 阿保谷 季 之 | 明 倫 小 学 校 |
| 度 会 郡    | 宮 原 浩 二 | 南 島 中 学 校 | 小 林 一 彦 | 田 丸 小 学 校 |
| 鳥 羽 市    | 西 井 潔   | 長 岡 中 学 校 | 奥 村 陽 子 | 鏡 浦 小 学 校 |
| 志 摩 市    | 山 本 太   | 神 明 小 学 校 | 上 村 嘉 房 | 磯 部 小 学 校 |
| 伊 賀 市    | 山 口 素 生 | 緑ヶ丘中学校    | 高 橋 昌 史 | 府 中 小 学 校 |
| 名 張 市    | 澤 正 人   | 錦生赤目小学校   | 赤 塚 弘 憲 | 桔梗が丘南小学校  |
| 紀 北      | 畑 中 祥 司 | 向 井 小 学 校 | 矢 賀 正 之 | 宮之上小学校    |
| 紀 南      | 上 林 和 弘 | 木 本 小 学 校 | 濱 田 充 宏 | 神志山小学校    |

令和元年度 新任教頭名

4月1日現在 141名

| 地域     | 前 名 |    |    | 学 校 名 |    |    | 前 名 |    |    | 学 校 名 |    |    | 前 名 |    |    | 学 校 名 |    |    |    |     |    |    |    |    |
|--------|-----|----|----|-------|----|----|-----|----|----|-------|----|----|-----|----|----|-------|----|----|----|-----|----|----|----|----|
| 北 勢    | 水谷  | 渡邊 | 濱山 | 佐田    | 美典 | 佐優 | 子樹  | 立星 | 教見 | 小丘    | 小部 | 古川 | 川木  | 重裕 | 紀子 | 修多    | 德青 | 小葉 | 高山 | 秀敦  | 和彦 | 桑多 | 部北 | 小中 |
|        | 濱山  | 宮伊 | 高田 | 明正    | 美紀 | 毅紀 | 光子  | 高橋 | 花重 | 北磐    | 野宮 | 森川 | 本川  | 吉洋 | 宏史 | 正石    | 青和 | 小中 | 武加 | 將雅  | 弘也 | 長神 | 度島 | 小中 |
| 津      | 松寺  | 長谷 | 大堀 | 由貴    | 敦香 | り司 | 合一  | 千村 | 丘主 | 小丘    | 小丘 | 中吉 | 島岡  | 功良 | 次江 | 明東    | 觀里 | 小中 | 田中 | 英博  | 芸濃 | 西丘 | 小東 |    |
|        | 松谷  | 屋倉 | 内田 | 百浩    | り司 | 合一 | 一   | 高南 | 茶丘 | 木三    | 志  | 山岸 | 深輪  | 博辰 | 男子 | 大橋    | 北志 | 小中 | 福本 | 子泰  | 志居 | 久東 | 小東 |    |
| 松 阪    | 奧小  | 濱西 | 川瀨 | 健美    | 司紀 | 明和 | 純忍  | 第東 | 五部 | 小江    | 小江 | 三松 | 宅井  | 孝研 | 史吾 | 伊勢    | 寺代 | 小中 | 西橋 | 子郎  | ヶ室 | 崎山 | 小中 |    |
|        | 中前  | 瀨木 | 良口 | 秀久    | り純 | 樹美 | 聰   | 南豐 | 地野 | 高可    | 田添 | 田中 | 川木  | 真多 | 帆子 | 漕射    | 和川 | 小中 | 加沼 | 二郎  | 和田 | 田部 | 小中 |    |
| 南 勢・志摩 | 正奥  | 木田 | 靖恭 | 宏子    | 厚豐 | 生東 | 小中  | 生東 | 勢羽 | 東海    | 小中 | 石中 | 井西  | 清祐 | 文一 | 神倉    | 社山 | 小中 | 山下 | 千敦  | 恵子 | 郷田 | 小中 |    |
|        | 谷橋  | 口川 | 雄勝 | 彦子    | 小錦 | 勢羽 | 小中  | 浜俣 | 勢羽 | 東海    | 小中 | 服山 | 部野  | 卓万 | 也華 | 南島    | 東島 | 小中 | 春山 | 淳永  | 志介 | 島勢 | 小中 |    |
| 伊 賀    | 田赤  | 中井 | 智理 | 彦子    | 上野 | 西野 | 小中  | 野生 | 山張 | 丘     | 小中 | 里石 | 田井  | 雅康 | 彦晴 | 新成    | 居東 | 小中 | 宮川 | 鎮幸  | 郎穗 | 戸山 | 小中 |    |
|        | 山板  | 本橋 | 優誠 | 恵子    | 壬青 | 山張 | 小中  | 生山 | 山張 | 丘     | 小中 | 石姫 | 幡本  | 宏芳 | 昭広 | 藏北    | 持  | 小中 | 松谷 | 和好  | 隆也 | 合が | 小中 |    |
| 紀北     | 渡稻  | 邊葉 | 史武 | 次彦    | 賀赤 | 田羽 | 小小  | 賀赤 | 田羽 | 小小    | 小小 | 上野 | 野浩  | 之  | 三  | 浦     | 小  | 橋  | 孝祐 | 東   | 東  | 小  |    |    |
| 紀南     | 山濱  | 中野 | 一博 | 宏臣    | 井木 | 戸本 | 小小  | 井木 | 戸本 | 小小    | 小小 | 前山 | 田岡  | 綾雄 | 有阿 | 馬和    | 小小 | 福竹 | 幸大 | 久人也 | 飛井 | 鳥田 | 小小 |    |

# 新しい風

141名の方が本年度新しく教頭として着任されました。フレッシュな声をお届けします。



## 『母 校』

桑名市立多度北小学校  
山 河 敦 彦

4月1日、新任教頭として赴任したのは自分が卒業した小学校。校舎は建て替えられていますが、懐かしい場所です。今は校区内には住んでいませんが、地域の役員の方々にあいさつ回りをしていて、「(実家住所)の山河さんでしょ?」と声をかけていただくことが多くあり、ありがたく思いました。

と同時に大きな責任感も感じました。そして「自分を育ててもらった学校・地域に恩返しをしよう!」という漠然としていますが大きな目標を立て、達成に向けてどんなことが出来るのかを考えながら毎日働いています。教頭という職種は地域と関係した業務内容も多く、「母校赴任」という強みを生かして、精一杯頑張っていこうと思います。



## 教頭として主体的に

いなべ市立阿下喜小学校  
小 林 晃 也

“自分が自分でない感覚”・・・この2ヶ月を過ごしてきたの感想を求められると、この言葉が一番当てはまるような気がします。すべきことを忘れていたばかりか、自分がしたことさえ忘れてしまうこともしばしばありました。しで

かしたミスは、枚挙にいとまがありません。

教諭としての28年間は、物事に自ら主体的に関わる毎日だったように思います。しかし、この2ヶ月は、やるべきことが先にあり、それを消化していく毎日になってしまっていました。その中で、消化しきれず、周りのみなさんに迷惑をかけてきました。

それは、子どもにとっても同じなのではないかと思っています。「もの」や「ひと」に主体的に関わっていける子どもは、生き生きとし、力もつけていくことでしょう。早く地に足をつけ、子どもや職員が主体的に関わっていける学校・職場になるようにしていきたいものです。



## 「興譲」140年余の歴史を未来へ

四日市市立大矢知興譲小学校  
稲 毛 弥 生

本校の校名には「興譲」の文字が冠されています。これは、古書「大学」の一節『一家仁 一国興 一家讓 一国興讓...』が出典です。明治初期の創立以来、興譲小学校は、伊勢湾を望む松並木がシンボルの学校として、地域に愛され、140年余の歴史を刻んできました。

私は、昨年度まで12年間の教育行政の大半を、本地域の教育課題解決に携わってきました。時には、地域や保護者の方と議論を交わすこともありましたが、4月に教頭として着任し、本校の一員となった私を、地域は温かいまなざしで迎えてくれました。初めての小学校現場に戸惑い



ばかりですが、活気ある職員と温かい地域に囲まれ、想像以上に楽しい毎日を過ごしています。

興譲の教えに従い、謙虚さと思いやりを大切に。本校の一員として、興譲の歴史と伝統を未来へとつなげていきます。



## 「13年ぶりの学校で」

四日市市立西朝明中学校

澤井 広美

「季節感が感じられる」「生徒の声が聞こえる」こんな当たり前の風景に、4月「学校はやっばりいいなあ」としみじみ噛みしめた。しかし、諸先輩方から伺ってはいたものの、年度初めの業務量の多さには大変驚いた。日々ドタバタの中、温かく見守り励ましてくれる校長先生をはじめ職場の方々には本当に感謝している。

さて、学校現場では、新学習指導要領の趣旨を踏まえた授業づくり、道徳の教科化、学校における働き方改革、危機管理意識など昔よりも教職員に求められることが増えたように思う。そのような中、教頭として自分に何ができるのか、学校経営にどう参加していくのか日々考えるようになった。

教頭としての毎日は新しい発見の連続である。日々多忙ではあるが、職場でのコミュニケーションを大切にしながら業務を進めていきたい。



## 不安と懐かしさと戸惑いと…

朝日町立朝日小学校

田中 陽子

全校児童936名、全教職員94名、これが、私の勤める朝日小学校である。全教職員の名前はいつ覚えられるだろう。教頭なんてできるのだろうか。4月初め、大きな不安を抱き、初出勤。見慣れた通勤路、校舎。登録有形文化財に登録されている円形校舎での始業式では、1000人近くの児童がいることを感じさせないほど、整然と並んで話を聞く子どもたち。「ああ、朝日小学校やなあ。」7年前まで教諭として勤めていた学校は、様々な不安を少し取り除いてくれた。

ピカピカのランドセルを背負った1年生のように期待に胸膨らませ・・・とはいかず、戸惑いの日々。でも、私には救世主がいた！そう、2人教頭の相方先生。「ありがたや、ありがたや。」なんて、言ってはられない。独り立ちできるように、がんばろう。



## 笑顔と感謝、対話を大切に

鈴鹿市立旭が丘小学校

大西 真人

着任してから2ヶ月。日々山積する業務と格闘していますが、校長先生のリーダーシップと温かい教職員に支えられて毎日が充実しています。また、多くの保護者・地域の方の温かさや大きな期待に触れ、喜びや感謝と同時に、その重責に改めて身が引き締まる思いです。

本校の目指す学校像「今日も来てよかった！と思える学校」の実現のために必要なことは、教師も子どもも自分の成長を実感できることだ

と思っています。若手教員のチャレンジ精神を引き出し、ベテラン教員の経験値を生かす学校となるように、「明るい笑顔と感謝の気持ちを大切にする」、「いろいろな人と話をする、対話をもってつながっていく」この2点を大切に、教職員や保護者、地域の方と共に「チーム旭が丘」を盛り上げていけるよう頑張ります。



## 教頭の席から 見えるもの

亀山市立野登小学校

松 浦 洋 幸

「教頭先生…」と何度も呼ばれて、ようやく自分のことだと気がつく。4月当初の自分はそんな状態でした。慣れない仕事に余裕のない毎日でしたが、職場の先生方に支えられ、何とか4月を乗り切ることができました。

5月になると少しずつ仕事にも慣れてきました。そんなとき、ふと気づいたのが職員室の自分の席から見える景色の違いでした。校務分掌で忙しそうな先生や教材を一生懸命に作っている先生、いつもより元気がない先生など、教頭の席からは先生方一人ひとりの様子がよく見えます。そういえば、前任校の教頭先生は、大変なときによく声を掛けてくださいました。この席から、いつも職員のことを気に掛けてくださっていたのだと思います。「教頭は職員室の担任」という言葉を実感すると共に、先輩の教頭先生方を見習い、職員が生き生きと働ける職場づくりを大切にしていきたいと思います。



## 変わったもの、 変わらないもの

津市立千里ヶ丘小学校

松 田 敦

本校は私の初任校であり、教員生活をスタートした場所です。令和という新しい時代に20数年ぶりに勤めさせていただくことになりました。教室の配置は変わりましたが、建物そのものは変わっておらず、毎日戸締りをしながら、昔の出来事を思い出しています。

新興団地の造成により、児童数は2倍ほどになりましたが、子どもたちの雰囲気や学校全体の様子は以前のままで、始業式で校歌を聞いたときは目頭が熱くなりました。

また、新採の頃に担任した子どもたちがちょうど保護者の年代になってきており、これまでに何人かの教え子に声をかけられました。「この仕事を選んでよかったなあ」と実感しながら、日々の業務に取り組んでいます。



## 「わからないと いえる子」

津市立西が丘小学校

福 本 博

「あなたの担任生活もう終わりね」と当時の校長に言われ、行政へ。10年ぶりに学校に戻り、早1ヶ月半。提出書類に追われながら4月を乗り切り、10連休後もちゃんと出勤し、ようやく学校の職員と話せる時間ができてきました。

ここまでこれたのは、校長先生ともう一人の教頭先生（本校は2人教頭）の支えがあったからこそです。職員もいろいろ思うところはあるでしょうが、温かい目で見守ってくれているのを感じます。そんなある日、補欠で入った授業

は算数でした。担任の先生はプリントを用意してくれていました。しばらくすると「わからへん」という小さい声が。どうしようかなと思っていると、隣から「それはさあ」と教えてあげる子たち。せっかくの出番はありませんでしたが、いい学級を作っているなあと感じるとともに、この学級・学校を支え、さらによい学校にしていきたいと思いを強くした1日でした。



## 「全力！」

津市立一志中学校

松 田 浩 一

爽やかな風を感じつつ、新しい学校で気持ちを新たにスタートした4月1日。しかし、現実には、早朝から深夜まで、1日のうちのほとんどが座っている生活、立ち上がっているのは1時間もない生活に変わってしまっていました。生徒とも挨拶くらいしか交わさずに二ヶ月が過ぎ、腰や膝に、痛みや痺れを感じる日も増えてきました。そのような中、6月4日に本校で体育大会が行われました。全力で走り、跳び、応援する生徒、そして、全力で生徒を励まし動き回る先生たち、その姿はとても眩しく、うらやましいほどの輝きと熱さを放っていました。「学校は、生徒や先生たちのエネルギーで活きているものなんだ」忘れかけていた大切なものをしっかりと思い出すことができた素晴らしい一日となりました。明日から、その中の一人として、頑張ることを決意しました。



## 一日の終わりに

松阪市立漕代小学校

松 井 研 吾

新任教頭として、漕代小学校で勤務し約2ヶ月が経ちました。

一日が終わり、静かになった職員室で、その日の出来事を学校日誌に書くことが退勤前に行う日課となっています。日誌を書きながら、「周りが見えずに失敗したな」とか「そういうことなら次回はこういうふうに提案してみよう」等、あれこれと一日をふり返っています。うまくいかないことが殆どで、教頭としての力不足を感じる時でもあります。

校長先生をはじめこれまで出会った教頭先生の姿から学び、力量を高められるよう精進していきたいと思います。そして、子どもにとっても職員にとっても笑顔いっぱいの学校となるよう力を尽くしていきたいと思います。



## 早く一人前に…

大台町立日進小学校

池 村 一 平

4月1日、梅檀の木がひときわ大きく立つ日進小学校に赴任した。前教頭先生から丁寧な引継ぎをしてもらい、覚悟を決めて学校に来たつもりだった。しかし、現実とは全く甘くなかった。第一回目の職員会議、一番学校を分かっていない自分が提案している。嫌な汗が静かに流れ続け、逃げ出したくなる苦しい職員会議だった。どんどんと入ってくるメール。必ず提出期限が付いている。「やっと送ることができた」と思ったら、次の日にはさらにメールが増えている。

送られてくる調査のループは一体いつまで続くのだろう。「一ヶ月、もつのかな」とすごく不安になった。でも、なんとかもっている。全て、前教頭、温かい職員のみなさん、子どもたちのおかげだと思った。これからは、早く一人前になって、みんなのために、学校のために役立たなければと思う今日この頃である。



## 「平成元年、令和元年」

伊勢市立神社小学校

石井 清文

平成元年に新卒採用で教諭となり、令和元年に教頭に昇任しました。私の教諭人生は、平成とともにあったんだな……、などと感傷にふける間もなく、初めて赴任する学校で、怒涛の如く押し寄せる4月5月の提出書類等とPTA行事、地域の行事に春の運動会と毎日毎日毎日……忙しい!!!

のんびりコーヒーを飲みながら原稿を書いているこの5月末、無事にむかえることができたのは教頭業務を丁寧な指導してくれる校長先生と陰に陽に援助してくれる事務職員さんのおかげです。

「6月はちょっと余裕ができて、仕事帰りにすぐその港でシーバス釣りできますかね」

「いやいや、隣の小学校との統合準備作業がいっぱいあるよ（校長）」

「……」



## 「ただいま！」でスタート

度会町立度会小学校

山 野 万里華

4月1日の早朝、「ただいま！」と元気よく、静まり返った職員室のドアを開け、私の教頭生活はスタートしました。もちろん、誰もいない早朝です。「おかえり！」の言葉が返ってくるはずありません。それでも、気持ちはとても明るく、心は軽やかでした。この「ただいま！」の言葉には、2つの意味が込められているのです。

私は、昨年度まで学校現場を離れ、勤めていました。それは、学校現場では決してできない貴重な経験をさせていただく機会になりましたし、自分の成長にとって、かけがえのない2年間であったことは確かです。しかし、そこに元気な子どもたちの声は、響きません。屈託のない笑顔は、見えません。それが、寂しくて、寂しくてたまりませんでした。この2年間があったからこそ、今どんなに多忙でも、やっぱり私は学校が好きだと言えるのです。

そして、この度会小学校は、統合小学校として開校時から勤めていた懐かしの学校でもあり、6年ぶりの校舎には数々の思い出がたくさんつまっているのです。

だからこそ、この「ただいま！」の言葉には、学校現場を離れて学んだことを生かし、職員全員が心を一つにして、大好きなこの学校をますます魅力的な学校にしたいという強い思いが込められているのです。







## ご縁を感じて ～神島での暮らし～

鳥羽市立神島小学校

杉 美 幸

今から27年前、初めて赴任した地、神島に再び勤務することになりました。一緒に赴任した先生方が当時の自分と同じ年代で、普段の会話からも「若い!」と感じさせられる日々を過ごしています。仕事も生活も常に一緒です。エネルギーをたくさんいただいています。

3年前から小中併設校となり、同じ学び舎で小学校15名・中学校11名が学んでいます。9年間の学校生活で身につけた力が、子どもたちの夢の実現につながるよう日々奮闘しています。そして、ここ神島から離れてもいつも心にあふれさが浮かぶ「ふれさと学習」を進めています。11月15日（金）に研究発表会を開催しますのでぜひお越しください。



## 「自分らしく」

志摩市立東海小学校

八 橋 浩 子

ある日、戸締まりをしていて「えっ、このトイレの周りは黄色だったんだ」「ここは、こんな丸い模様だったのかあ」と気づいたのは、東海小へ赴任してから1ヶ月も過ぎてからのことでした。

同じように、目の前にある日々の仕事に追われ、先生方や子どもたちの姿も全く見えていなかったなと反省することしばし。

その昔「忙しいは心を忘れる」と、先輩に教えていただいたことを思い出し、忙しくても先

生方や子どもたちとの時間は大切にしていきたいと思います。

4月から校長先生や職場の先生方に支えられてきた事を今度は少しでも返していけるように自分らしくぼちぼちやっていきたいと思っています。



## 縁を大切に

伊賀市立成和東小学校

石 井 康 晴

統合により、学校の名前は変わりましたが、10年前に勤めた学校に新任教頭として着任しました。引継ぎで久しぶりに訪れた校舎がたいへん懐かしく感じたのが、つい先日のように思います。

着任してから、PTAの会議では、以前担任をした児童の保護者の方々と再会したり、かつての上司が読み聞かせのボランティアや学校評議員として本校の教育推進に関わってくださったりと、いろいろな場でたくさんの励ましの声をいただき、今までのご縁に、自分が支えられていることに改めて気づくことができたと同時にそのことが心強く感じました。

さらに、4月に出会った、地域、保護者、職場、子どもたちとのつながりを大切に、誰もが安心できる学校になるよう、努力していきたいと思います。





## “気になる子”の ために

名張市立百合が丘小学校  
松田和隆

7年ぶりに学校現場にもどりました。

初めての教頭でもあり、わからないこと、戸惑うことが多く、仕事のペースがつかめないまま、毎日が激流のように過ぎていきました。

そんな中、“気になる子”の支援については職員とショートミーティングを繰り返し、短期目標を立て、手立てを実行し、評価することを繰り返しました。少しずつでも子どもたちに成果の姿が見られたときや、保護者の喜びの声を伝え聞いたときなどは本当に嬉しく、職員を頼もしく感じます。

これからもバタバタ悪戦苦闘しながら、職員と共に頑張っていきます。



## お〜い、親父！

紀北町立三浦小学校  
上野浩之

3月28日、病氣療養中の親父が亡くなった。「今は忙しいから、もう少し」と願い、何度ももち直してきたが、とうとう逝ってしまった。当然、予定していた異動先との引継ぎもキャンセルとなった。

寂しさに浸る間もなく、教頭としての初出勤が4月3日。新年度の準備を進めている職員を、ただ眺めているだけだった。ようやくできた引継ぎでは、大きな不安しか覚えていない。さらに追い打ちをかけるように、パソコンのデータが飛んでしまった。教委からのメールの対応に紙ベース資料の打ち直し、息をつく暇もないが、

全校児童14名の声に癒されながら日々の業務に向き合っている。

お〜い、親父。よく頑張ったな。でも、この時期が一番大変やったわ。新任教頭への大きなプレゼント、ありがとう！やるしかないわ。



## 母校へ赴任して

熊野市立木本中学校  
濱野博臣

♪太平洋に昇る日を 朝な朝なに 眺めては・・・♪

4月着任式で、元気よく歌っている生徒たちの校歌を聞き、当時を思いおこし懐かしさに浸っていた。

3年間通った坂道。こんなに狭かったっけ？当時校舎の裏の団地も数件だけだったのが、住宅がたくさん建ち並んでいる。

木中の子どもたちは、みんな人懐っこくて、元気。朝も「おはようございまーす！」と挨拶をしてくれ、日々元気を注入してくれてありがたく感じている。

毎日の業務では、手際が悪くて、職場の校長先生をはじめ、職員みなさんに助けられています。また赴任して、助かっていることがあります。それは、給食です。当時は弁当でした。今までの教師生活で初めての給食ということで、日々本当に助かっています。とてもおいしい給食を食べさせていただいています。

本校の学校教育目標である「夢・希望・自己実現」一人ひとりの子どもたちの夢や希望が叶えられるよう全力でサポートしていきたいです。



# 釣 り

桑名市立成徳中学校 藪 中 政 雄

私は、休みの日に釣りにでかけることを楽しみにしています。

釣り歴はまだ30年ほどです。きっかけは初任の南紀熊野の中学校での釣り好きな先輩教師や生徒との出会いでした。休日は釣るか温泉の2択ぐらいしか思いつきませんでした。最初は誘われるがままに、部活のない休日には鵜殿港の堤防、七里御浜や那智勝浦の磯と出かけていきました。今はどうかわかりませんが、あの頃の子どもたちは素潜りでアワビを採ってきてくれる、ヘシという銚子のような道具で魚を突いて持ってきてくれる子と「とったどお～」の世界で、名古屋育ちの私にはとても新鮮でした。今考えると釣り好きにはまさに天国のような環境です。たくさん釣れましたし、釣りが好きになりました。

釣りというと気長な娯楽というイメージがあります。中には忙しくタナ（エサを投入する水深）、エサの種類（魚によって好みが変わり、季節、時間帯によっても釣果に影響がでます）等、変えながらまじめに釣っている方もみえます。しかし私が好きなのは魚がかかるまで竿を出したままのんびり昼寝をといる不真面目な釣りです。だから釣

行の多くは、まったく魚が釣れてくれません。真冬の神島で一日何も釣れずにただひたすら寒いだけだったということもあります。何が楽しくて釣りに行くのかと思われるでしょうね。もちろん魚が釣れることですが、私の場合それは楽しみの3割くらいです。釣行を決めると、「今度は何が釣れるかな」「あそこの堤防なら釣れるのでは」「新しい仕掛けを試してみようか」等々一人妄想にひたって、「魚が爆釣したらどうしようか」などと考え、その後の刺身にして食べていることまで考えているときが一番幸せな気分になります。さらに倉庫から竿を出してきて磨く、リールをカラカラとひとりで回して点検するという時間が至高です。実際に魚が釣れるかどうかは、私の場合あまり問題ではなく、まったく釣れなくてもすでに充分楽しんでいるわけです。

何かと忙しくて、やることに追われるような日々です。でも、そういう様々なことを忘れて完全にリラックスできる時間をもてることってとても大切だと感じています。体力気力財力が続く限り出かけていきたいと思います。





## 郡市だより

# 「防災を考える会」～地震・津波に備えて～

熊野市立新鹿小学校 奥 村 隆 志

熊野市立新鹿（あたしか）小学校は、県南部・熊野市の海岸線沿いに位置し、海と山に囲まれた風光明媚な地域にあります。校区には、世界遺産の熊野古道が通り、楯ヶ崎や徐福渡来伝承の地（波田須）、白砂青松の新鹿海水浴場（環境省・快水浴場100選）等、自然豊かな地域を有しています。

地域の少子化に伴い、近隣の学校を統廃合して平成23年に新校舎が完成しました。その時に中学校も併設したため、通称を「新鹿小・中学校」とし、校長1名・教頭2名の体制で日々の業務を行っています。

以前から地域と密着した学校ではありましたが、昨年度から「コミュニティ・スクール」として「防災」「行事」「地域学習」について、学校と地域が協力して取組を進めることとなりました。

地域が海に面しているため、地震や津波に対する危機感は遠い昔から引き継がれていて、町には宝永4年（1707年）地震の津波の高さ13mを示す碑をはじめ、嘉永7年（1854年）大地震で津波が

押し寄せた場所を示す「津波留」や昭和19年（1944年）の東南海地震による津波到達地点を表す碑等が多く残されています。

そこで、本校では、地域の方々とともに地震・津波について考える「校区防災委員会」を立ち上げ、地域全体で行う「防災を考える会」を開催しています。

昨年度は、児童生徒を含め約200名が参加し、小学校体育館（地域の第2避難場所・海拔22m）を会場に、東南海地震体験者作成の紙芝居や新聞紙スリッパ作り、新鹿津波歴史のプレゼン、非常食体験を行いました。紙芝居は小中学校の教員が朗読を担当し、スリッパ作りでは児童生徒がグループに分かれ、地域の方に教えながら親睦も深めることができました。

今年度は、「地域のことをもっと知ってもらおう」をコンセプトに話し合いを持ち、避難場所・津波の碑等を巡る「新鹿ウォークラリー」を実行（雨天のため学校内で実施）しました。また、本番を想定した炊き出し訓練（薪を使ってご飯を炊く）も、婦人会を中心に行いました。約150名の参加がありました。

考える会の最後はいつも、「想定にとらわれるな」「その状況下において最善をつくせ」「率先避難者たれ」の「津波避難の3原則」でまとめています。

いつ起こるか分からない東南海地震に備え、教頭としてできる準備はやっていこうと心掛けています。

